

三陸沿岸道路八戸南道路が全線開通 ～復興道路として初めての開通～

東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして三陸沿岸道路の整備を進めています。

このたび、八戸南道路の種差海岸階上岳IC～階上IC間(約 5.3km)が、平成25年3月9日に震災後【復興道路】として初めて開通しました。

開通直後の整備効果をとりとまとめましたのでお知らせします。

■ 国道45号と三陸沿岸道【八戸南道路】の交通状況

路線	交通量(24時間)	
	開通前 H25.1.23	開通後 H25.3.13
三陸沿岸道路 【八戸南道路】	—	4,800台
一般国道45号 <small>あかほない</small> 【階上町赤保内】	11,500台	8,000台

■ 被災地の復興を支える物流ルートとして、多くの企業が利用(別紙)

※今後も調査を実施し、整備効果を公表する予定です。

〈 記者発表先:青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社 〉

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所

住所：青森市中央3丁目20-38

電話：017-734-4521(代表)

URL <http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/road/topic/ir/seibi.html>

副所長(道路)	樋口 <small>ひぐち</small>	和則(内線205) <small>かずのり</small>
調査第二課長	外崎 <small>とのかき</small>	高広(内線451) <small>たかひろ</small>

【開通直後】一般国道45号 三陸沿岸道路 はちのへみなみ 八戸南道路が全線開通して

(平成25年3月9日開通)

『復興道路として初めて開通』

- ・被災地の復興を支える物流ルートとして利用
- ・並行現道から4割の交通が八戸南道路へ転換



■八戸南道路を利用し被災地の復興を支える企業の声

- ◆八戸市から洋野町や宮古市へ、トラック10台で、ほぼ毎日、食品や雑貨を運搬しているが、冬期は最大で20分程度の時間短縮となる。
- ◆八戸市から洋野町などに、重機や建設資材、仮設住宅を運搬し、震災後は輸送量が2倍に増加したが、営業活動が効率化し、取引先も拡大する。
- ◆久慈市から八戸市などへ、毎日建設資材を運搬し、震災後は輸送量が2倍に増加した。走行性が高く大幅な輸送の効率化を実感しており、荷痛みの心配も全く無くなった。

■並行する国道45号から八戸南道路に約4割転換

開通前

八戸南道路 : -
 国道45号 : 11,500台/24時間

開通後

八戸南道路 : 4,800台/24時間
 国道45号 : 8,000台/24時間

八戸南道路の概要

- ・事業期間 : 平成15年度～平成24年度
- ・総事業費 : 235億円
- ・延長 : 8.7km(うち3.4kmは平成19年に開通済み)
- ・幅員 : 12.0m